

安城市内景況調査結果 (2022年4月～6月)

<多くの業種において物価高や円安の影響がみられる>

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 100企業
2. 調査対象時期 2022年4～6月期
(1)前年同期(2021年4～6月)と比べた今期の状況
(2)今期と比べた来期(2022年7～9月)の先行き見通し
3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	その他	計
企業数	24	21	21	27	7	100
構成比	24.0%	21.0%	21.0%	27.0%	7.0%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると右記の表のとおり、△2.0ポイントとなり、業況が悪化していることが分かる。昨今の物価高や円安傾向により、多くの事業所について今後売上単価等について悪化していくことが予測される。

	前年同期比 (前 回)	前年同期比 (今 回)	来期の 見通し
業況判断	△4.0	△2.0	1.0
売上高	△5.0	2.0	0.0
売上単価	△28.3	△17.7	△15.6
資金繰り	△15.0	△4.2	△7.3
借入難度	△10.8	0.0	△3.2
収益状況	△24.2	△23.0	△11.2
雇用人員	0.0	△5.1	△4.1

凡例▶

30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全 産 業											
		製 造 業		小 売 ・ 卸 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業		そ の 他			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△2.0		△4.2		△14.3		9.5		△7.4		28.6	
	売 上 高	2.0		△4.2		4.8		△9.5		7.4		33.3	
	売 上 単 価	△17.7		△20.8		△9.5		△30.0		△19.2		20.0	
	資 金 繰 り	△4.2		0.0		0.0		0.0		△23.1		28.6	
	借 入 難 度	0.0		△4.2		5.6		△4.8		△4.2		28.6	
	収 益 状 況	△23.0		△12.5		△28.6		△33.3		△25.9		0.0	
	雇 用 人 員	△5.1		△8.3		△5.3		△9.5		7.4		△28.6	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	1.0		△12.5		△14.3		9.5		19.2		0.0	
	売 上 高	0.0		△4.2		△9.5		4.8		7.7		0.0	
	売 上 単 価	△15.6		△25.0		△9.5		△20.0		△12.0		0.0	
	資 金 繰 り	△7.3		△8.3		△5.3		△9.5		△12.0		14.3	
	借 入 難 度	△3.2		△12.5		△5.3		△4.8		0.0		0.0	
	収 益 状 況	△11.2		△16.7		△5.0		△19.0		△7.7		0.0	
	雇 用 人 員	△4.1		8.3		5.3		△19.0		△7.7		△14.3	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。